

事業実施報告



高校生のための国際交流・国際協力EXPO

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth

高校生のための国際交流・国際協力 EXPO 2018

開催日:2018. 12. 24



事業の目的

- 1) 将来世界的な視野を持って、社会課題の解決に向けて行動がとれる次世代の育成
- 2) 関西地域において、高校生を含めた国際協力分野に関わるセクターのネットワークの強化、連携の促進

NGOをはじめとするさまざまなセクターが今後、今まで以上に質の高い充実した国際協力活動を展開してゆくために、次世代の育成とセクターを超えたネットワークの強化は重要な課題です。本事業は、高校生という早い段階から世界的な視野で社会課題を分析する力を育て、本分野への理解と参加を促すことを目的としています。また、若い世代を中心とした情報交換・発表の場をつくり、国際交流・協力に関わる様々なセクター（NGO/NPOなどの市民セクター、国際機関、行政や地方自治体、企業、高校・大学・教育機関など）がつながる環境を整備することを目指します。



背景

グローバル化が進む今日、私たちの生活は国境を越えて人々の生命・生活に深刻な影響を及ぼしています。貧困・飢餓・環境破壊・自然災害・感染症・紛争などの問題はもはや他人事では済まない課題です。そのような社会の変化のなかで、早い段階から国際的な視野を持ち、世界が抱える課題に向き合い、柔軟で斬新な発想をもって解決に向けて行動を起こす人材の育成が求められています。

いくつかの高校では国際理解教育が取り入れられつつあるものの、高校生たちが学習の成果や研究課題について発表し共有

できるような横断的な機会はほとんどありません。さらに、高校生と国際協力分野に携わるさまざまなセクター（外務省、JICA、企業、自治体、教育機関、NGOなど）がつながることで、情報共有・情報交換の場を若い世代に提供することも重要な課題となっています。

これらの課題に対応するため、セクター間を超えて高校生の発表の場と学び・育成の場となる高校生のための国際協力 EXPO が 2014 年に開催されました。



事業の成果

本年度は、延べ 6000 名が参加（各プログラム参加者総数）、高校生など約 190 名のボランティアが運営を支えました。参加高校は年々増え、47 高校がプログラムに参加しました。スーパーグローバルハイスクールだけではなく、地域の高校からの参加者も増えつつあります。参加した高校生たちは NGO 職員や企業の CSR 担当者と積極的に交流し、同世代の高校生たちの発表や取り組みに刺激を受けていました。アンケートからは、本事業が高校生にとって学習意欲の向上や、ボランティアなど社会参画への意識醸成、さらには将来の進路選択の機会にもつながっていることが読み取れます。

以上より、事業目標である“社会課題の解決や国際協力に関心を持つ層の裾野拡大、人材の育成”については一定の成果を見いだせると考えています。また、高校生実行委員会やボランティアリーダー育成など、高校生が企画段階から関わることで、高校生の視点と国際協力 NGO の視点を合わせた企画が実現し、専門性と参加・理解しやすさのバランスがとれ、事業に相乗効果をもたらしました。さらに、高校の枠を超え仲間と大規模なイベントを作り上げ、NGO や企業などのさまざまな考えや働き方に出会う経験が彼らの学び・成長につながった点も高く評価されています。

ワンフェスユースの長期での企画運営を通じて
育成した高校生の人数（～2018 年度）

延べ **107 名**

ワンフェスユース参加者累計
（～2018 年度）

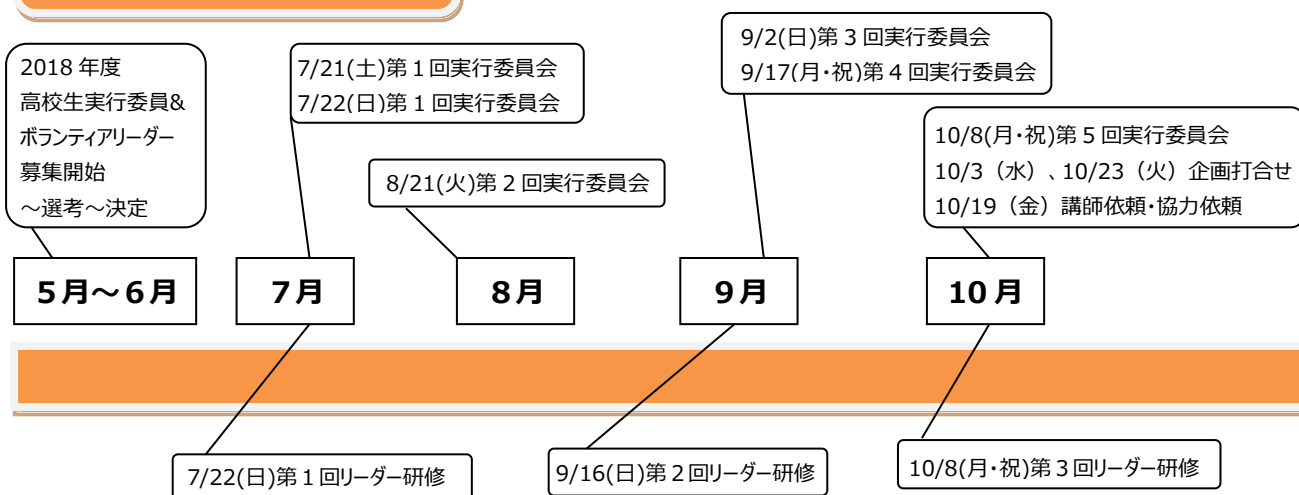
延べ **2 万 4 千人以上**



開催概要

名 称	『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth ～高校生のための国際交流・国際協力 EXPO 2018』
全体テーマ	“開け入口!! 拓け未来!!”
開 催 日	2018 年 12 月 24 日 月曜日・振替休日 (10:00～16:00)
開催場所	大阪 YMCA (大阪市西区土佐堀 1-5-6)
主催	・ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2018 運営委員会 ・特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会
協力	・大阪大学 CO デザインセンター ・公益財団法人 大阪 YMCA ・ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2018 高校生実行委員会 ・一般社団法人 ソーシャルギルド (※当日ボランティアコーディネート)
後 援	外務省、文部科学省、JICA 関西、ESD 活動支援センター、 近畿地方 ESD 活動支援センター、大阪府国際交流財団、大阪府教育委員会、 大阪市教育委員会、開発教育協会 (DEAR)
協賛	リタワークス株式会社、イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、真如苑、 アサヒワビールクラブ、ジブラルタ生命保険株式会社、ロート製薬株式会社、 日本労働組合総連合会大阪府連合会 (連合大阪)、株式会社マイチケット、 学校法人山口学園 ECC 社会貢献・国際交流センター、泉南乳業株式会社
補助金・助成金	・外務省 NGO 事業補助金事業 ・積水ハウスマッチングプログラム助成事業 ・日連宗あんのん基金助成事業
当日参加者	延べ 6,000 名 (各プログラム参加者総数)
当日ボランティア	192 名
プログラム数	25 プログラム
参加団体数	高校・高校生団体 47 校、NGO33 団体 企業・大学・国際機関ほか 16 社・団体
運営事務局	特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会 〒530-0013 大阪市北区茶屋町 2-30 4 階 TEL 06-6377-5144 FAX06-6377-5148 MAIL youth_expo@kansaingo.net URL http://owf-youth.com

1年間の動き

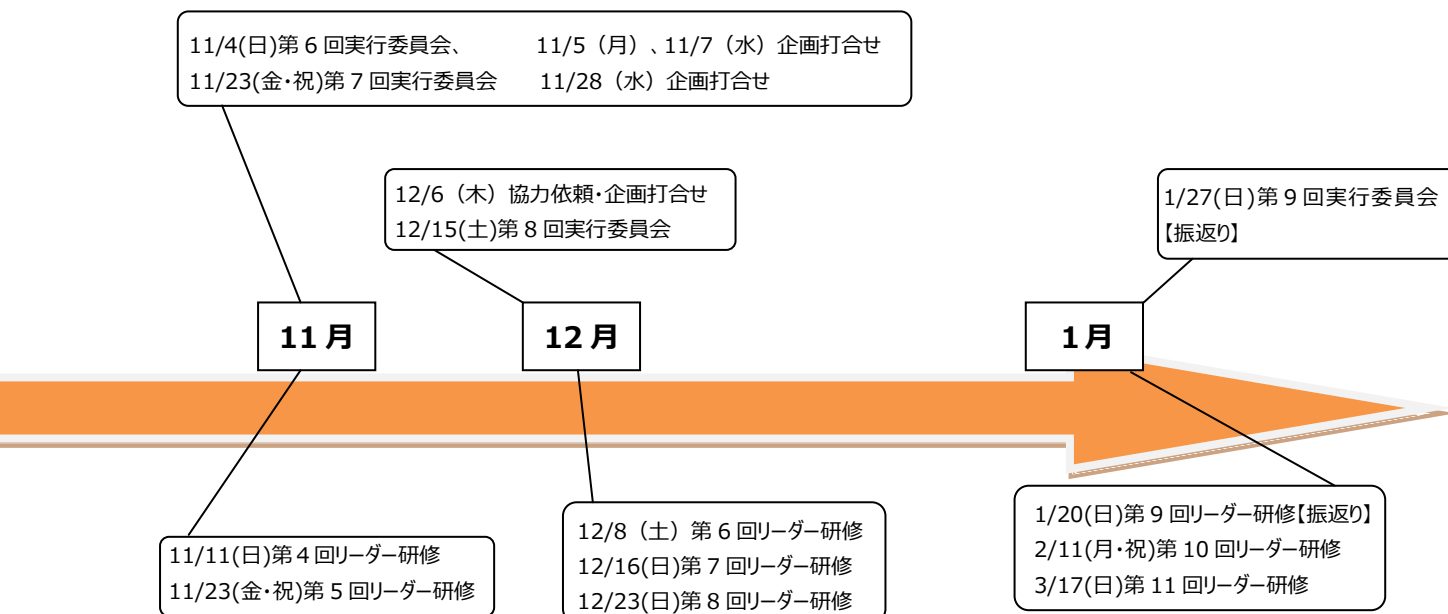


高校生実行委員会

本年度は、関西地域の公立・私立高校6校より計11名が集まり、企画運営の中心として活躍しました。

7月から月1～2回の会議を重ね、全体テーマの決定や広報、プログラムの企画立案、当日の運営、イベント後の振り返りまで、協力してイベントを作り上げます。企画作り、講師への依頼や講師との打合せも高校生たちが中心となって進めました。企画段階から高校生が主体的に関わることで、国際協力分野の専門性の高い内容であっても、若い世代が参加・理解しやすい工夫ができました。同世代のメンバーとの協働、NGO職員や企業関係者との関わりのなかで、さまざまな考えや働き方を知り、高校生の学びや成長にもつながりました。





ボランティアリーダー育成

高校生リーダーと、OBOGの大学生サポーターと一緒にボランティアチームとして活動します。夏から月1回程度のミーティングと研修、NGO訪問などを実施し、国際協力、ボランティアコーディネーション、チーム作りなどを学びました。そして、ワンフェスユース当日には192名の当日ボランティアのリーダーとして活躍しました。高校生たちは研修やイベント運営を通じて、ボランティアリーダーの役割の重要性に気づき、国際協力分野への理解を深めました。自分の意見を述べたり、人前で話をしたりする経験が高校生の自信や成長につながり、イベント終了後も、自ら積極的に他のボランティア活動に参加してゆく姿もみられました。



高校生企画プログラム

7月よりおよそ半年の期間をかけて高校生実行委員が企画を進めた、「入口を開き、未来を拓く」プログラム。

世界を知って次のステップへ引き上げるための工夫を凝らし、同世代へ働きかけるプログラムを作り上げました。

ワンフェスユースコレクション 2018

2階ホール内ステージ <11:30-12:00>
民族衣装試着コーナー <13:00-15:00>
【協力】(公社)アジア協会アジア友の会、JICA
関西、青年海外協力隊大阪府 OBOG 会
【参加人数】: 30 名、試着体験: 50 名



私らしさって何？

8階 802 <10:45-12:15>
【講師】三輪敦子さん
((一財)アジア・太平洋人権情報センター)
【参加人数】: 23 名



世界の中心で「防災」を叫ぶ

8階 802 <13:00-14:30>
【講師】吉椿雅道さん
((特活)CODE 海外災害援助市民センター)
【参加人数】: 23 名



<裏情報?!>企業とプラとエネルギー

8階 803 <10:45-12:15>
【講師】恒松秀紀さん
(ユニ・ファミリーマートホールディングス(株))
【参加人数】30 名



東アジア高校生首脳会談

8階 803 <13:00-14:30>
【協力】
立命館大学国際関係学部、(特活)Mielka
【参加人数】: 23 名



VR で知る世界の問題

9階 ロビー <10:30-12:30>
【協力】(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
【参加人数】153 名



心の距離をぐっと縮める 難民写真展

9階 ロビー <10:30-16:00>
写真提供: 安田菜津紀さん
(フォトジャーナリスト・Dialogue for People)



安田菜津紀さんトークショー

【スペシャルゲスト】安田菜津紀さん
(フォトジャーナリスト・Dialogue for People)

9階 903 <14:30-15:00>
【参加人数】: 147 名



高校生のための国際協力助成プログラム

高校生が課題解決へ向けて自分たちで実践したい国際協力・社会課題の解決策のプレゼンテーションを実施しました。成果が見込めるプランには、表彰の上、活動費（上限 5 万円）を提供し、高校生たちの “first step” を応援するプログラムです。本年度は、ノートルダム女学院高校「Fair For Smile」、大阪府立渋谷高校「天麩羅」の 2 つの活動が助成先として選ばれました。

高校生のための国際協力助成プログラム コンペティション大会 2018

3 階 302 <10:30-12:30> 【協賛】リワークス株式会社

【参加人数】：192 名 【応募総数】37 チーム

【出場校・チーム名】★印は入賞チーム

東アジア青少年歴史体験キャンプ「NEXTOKYO2019」／

立命館宇治高校「プー BYE !」／

★ノートルダム女学院高校「Fair For Smile」／

関西学院高等部「MAK」／★大阪府立渋谷高校「天麩羅」



高校生のためのポスターセッション

高校生たちが国際協力について、日頃の研究・活動の成果を、ポスターセッションで発表しました。国際問題に興味を持っている高校生が学びあえる場となりました。多数の応募の中から事前審査を経て、ファイナリスト 10 チーム、セミファイナリスト 7 チーム、SDG s 応援枠 2 チームが選出されました。NGO 職員等による当日審査で入賞したチームは特設ステージでプレゼンテーションを実施しました。

高校生のためのポスターセッション

2 階ロビー <10:40~12:45、12:45~14:20>

【参加人数】：1747 名 【応募総数】75 チーム

出場校（学校名・発表タイトル）：

【第 1 部】ファイナリスト <10:40-12:45>

★印は入賞チーム、☆印は人気投票入賞チーム

兵庫県立高砂南高校「My○○キャンペーン Which do you

use?」／★兵庫県立高砂南高校「子どもの未来を救おうプロジェ

クト」／★兵庫県立尼崎小田高校「Let's walk together!」／

☆神戸市立葺合高校「Bridging the Gap」／大阪府立堺東

高校「捨てられる食べ物と子どもたちのいのち」／立命館守山高校「日本の防災協力を世界へ！」／立命館守山高校「LGBT(同性愛

者)が生きにくい現状について」／★立命館守山高校「作れカレー 明ルウイトレード」／立命館守山高校「ASSISTANCE FOR

SPORT」／兵庫県立兵庫高校「外国人労働者に多く来日してもらうために」

【第 2 部】セミファイナリスト <12:45-14:20> ☆印は人気投票入賞チーム

立命館宇治高校「教育における女性への差別」／☆兵庫県立兵庫高校「知って守ろうロヒンギャ」／兵庫県立高砂南高校「戦争が起こ

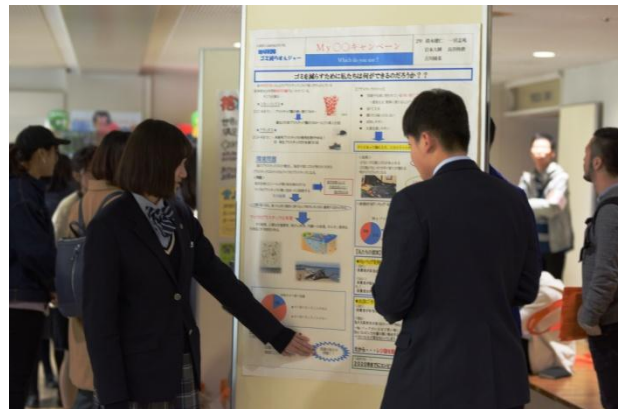
す不幸から人権を守る為に」／☆大阪府立堺東高校「質の高い教育をより多くの子どもたちに」／立命館守山高校「包装で変える意識」

／立命館守山高校「アフリカの人々により綺麗で安全な飲料水を飲ませたい！」／立命館守山高校「タイ米甘酒でアジア圏の発展途上

国の経済力向上に貢献」

SDG s 応援枠 ※当日発表のみ、当日審査の対象外

京都学園高校「Stop food loss for the hunger problem」／神戸市立葺合高校「日本における若者の政治参画」



ブース出展

国際交流・国際協力に関連する活動を行う高校・大学・企業・団体がブースを出展しました。高校生のブースは、同世代へ向けて日頃の活動を紹介する場として活用されました。また、企業ブースでは取り組む社会貢献活動を紹介、NGO・大学・学生団体ブースでは取り組む課題に対する知識や国際交流・国際協力活動が紹介されました。世代やセクターを超えたつながりづくり、情報共有の場としても活用されました。

ブース出展

2 階ホール <10:00-16:00>

【参加人数】2116 名

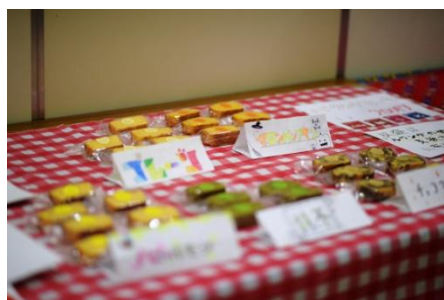
参加団体：

【高校・高校生団体】大阪暁光高校 FTC 部／大阪府立佐野高校 ユネスコ部／大阪府立東住吉高校生徒会ボランティア部／くろーばあ大阪府立東淀川高校／大阪府立松原高校／京都市立西京高校・附属中学校インターアクト同好会／京都府立北稜高校天文地学部／ノートルダム女学院高校 グローバル英語コース／立命館宇治高校 バングラデシュ支援プロジェクト／神戸市立葺合高校／神戸龍谷高校 JVC／兵庫県立兵庫高校／東アジア青少年歴史体験キャンプ／京都私学フェスティバル実行委員会／トビタテ！留学 JAPAN 参加高校生有志

【NGO・NPO / 学生団体】(公社)アジア協会アジア友の会(JAFS)／(一財)アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)／(特活)AMDA 社会開発機構／(公社)アムネスティ・インターナショナル日本 関西連絡会／Wake Up Japan／(公財)AFS 日本協会／(特活)AM ネット／(公財)大阪 YMCA／(特活)気候ネットワーク／(特活)CODE 海外災害援助市民センター／(特活)国際地雷処理・地域復興支援の会／(特活)テラ・ルネッサンス／(一社)日本フェアトレード・フォーラム／ハンガーゼロ／(公財)PHD 協会／(特活)フェア・プラス／(特活)Future Code BYCS／(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン／(特活)緑の地球ネットワーク／龍ヶ崎市国際交流協会ジュニア会議／(特活)Le Ciel／青年海外協力隊大阪府 OB・OG 会／ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会／日本国際学生協会(I.S.A.)／神戸外大 Habitat

【企業・大学・その他】プロジェクトアブロード／京都外国語大学・京都外国語短期大学／Global News View(GNV)／ JICA 関西／外務省 NGO 相談員 (※)

※(特活)開発教育協会、(特活)ピースウィンズ・ジャパン、(特活)アイキャン、(公社)日本国際民間協力会、(公財)PHD 協会、(特活)関西 NGO 協議会



高校生活動報告会

高校生の日頃の研究の成果、実際に体験した途上国でのフィールドワークやスタディツアーなどについて高校生自身が報告しました。社会の課題や国際問題について、他の高校生とディスカッションや質疑応答を通じて学びを深める報告会の場となりました。

高校生活動報告会

8階 808 <①11:30-12:30 ②13:00-14:30>

①立命館宇治高校「多文化共生を考えるワークショップ」

②「高校生が見た、アジアの今と私たち」

兵庫県立兵庫高校「ベトナムの環境、食べ物、風景ってどんな感じ？」

神戸龍谷高校「ネパール教育支援～活動実績と今後の課題～」

大阪府立松原高校「ホームステイや養護施設の交流から知るタイ」

8階 809 <①10:30-11:30 ②14:15-15:15>

①立命館宇治高校「立宇治 PBL 国際課題研究発表会」

②「高校生活動報告会」(ユネスコ協会 ESD パスポート実施校による研修活動報告)



カフェ・ワンワールド 2018

さまざまな世界の料理が高校生の利用しやすい手ごろな価格で提供されました。また、高校生もネパールのチャイや東ティモールのフェアトレードコーヒー、世界のお菓子、綿菓子などを販売しました。食を通じて世界を感じる場となりました。

カフェ・ワンワールド 2018

10階 101 <11:30-16:00>

【主催】(公財) 大阪 YMCA

出展店舗

- ・インドネシアンキッチン BAGUS
- ・ハーブ・スパイスキッチン
- ・大阪府立佐野高校 (ネパールのチャイ)
- ・大阪 YMCA 国際専門学校 i-COSY (東ティモールピースコーヒー)
- ・大阪府立松原高校 (綿菓子)
- ・大阪府立堺東高校 (世界のお菓子など)





高校生対象のさまざまなプログラム

NGO・NPO や企業等が高校生を対象にした国際協力や多文化共生を考えるワークショップや、高校生たちの日頃の国際協力活動・ボランティア活動を紹介するプログラムを展開しました。また、外務省「NGO 相談員」ブースとして日本を代表する NGO のスタッフが国際協力等に関する相談ブースを設けました。参加高校生は学びを深めていきました。

報道されない世界がある

8 階 807 <11:00-12:30>

【企画・講師】Global News View(GNV)
Virgil Hawkins さん(大阪大学・准教授)
【参加人数】: 31 名



ダイバーシティカフェ

外国人って遠い存在？

8 階 807 <13:00-14:30>

【企画】小泉朝未さん、岩根あずさん(大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム)
【参加人数】15 名



アジア・ユースサミット

地域を良くするプロジェクト発表会

8 階 809 <12:45-13:45>

【主催・企画】(公社)アジア協会アジア友の会
【参加人数】: 31 名
(写真提供: アジア協会アジア友の会)



ユネスコ協会 ESD パスポート 体験発表会

9 階 903 <10:00-13:00>

【企画】大阪府ユネスコ連絡協議会
【共催】(公社)日本ユネスコ協会連盟
【後援】日本国内ユネスコ委員会、
(公社) ユネスコアジア文化センター 他
【参加人数】: 81 名



英語で学ぶ世界最大 スポーツイベントの精神

9 階 904 <10:30-12:30>

【企画】イー・エフ・エデュケーション・
ファースト・ジャパン株式会社
【参加人数】: 17 名



SDGsユースアジェンダ キックオフ大会

9 階 904 <15:00-16:00>

【企画・講師】Japan Youth Platform
for Sustainability(JYPS)、立命館大学
Sustainable Week 実行委員会、
(特活)関西 NGO 協議会
【参加人数】44 名



開会式:体験!

「世界がもし 100 人の村だったら」

【協力】同志社女子大学現代社会学部
国際こども研究会 DEC



10 階 101 <10:00-10:30>

【参加人数】120 名



参加者交流スペース

8 階 810・811・812 <11:00-15:00>

【企画】高校生ボランティアリーダーチーム



ご支援・ご協力くださった皆さま（敬称略）

＜ご協賛企業のみなさま＞（順不同）

リタワークス株式会社、イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、アサヒワンビールクラブ、真如苑、ジブラルタ生命保険株式会社、ロート製薬株式会社、日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）、株式会社マイチケット、学校法人山口学園 ECC 社会貢献・国際交流センター、泉南乳業株式会社、※外務省 NGO 事業補助金事業、※積水ハウスマッチングプログラム助成事業、※日蓮宗あんのん基金助成事業

＜物品のご提供・貸出によるご協力＞

・ワンフェス・ユース公式バッグ（イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社）・当日ボランティアへ感謝の品（ロート製薬株式会社）・プロジェクター貸出（大阪商工信用金庫）・会議用飲料（アサヒ飲料株式会社）

＜当日会場警備のご協力＞ ジブラルタ生命保険株式会社 社員ボランティア

＜クラウドファンディングへご支援いただいたみなさま＞

【支援者数】59 名 【支援総額】307,000 円

（掲載を許可いただいた方のお名前のみ掲載しております）



（クラウドファンディングホームページ画像）

浅井宏純、熱田典子、荒木雄大、石崎雄一郎、梅原綾子、梅原崇裕、浦田和久、浦部晃希、岡島克樹、柏木宏、加藤良太、門直道・美紀、川本健太郎、窪田勉、栗田佳典、小林直樹、小吹岳志、近藤大介、崎谷裕樹、下村委津子、神保民香、杉浦真理、高橋美和子、高森靖、辰巳くみ子、田中秀幸、田中めぐみ、奈良いづみ、西坂和弥、西山良作、橋口正和、東川貴子、福井康代、松本真輝、三原重央、三輪敦子、村井繁光、役重善洋、安里佳世子、柳詩織、山上正道、山下凌司、山本哲史、吉椿雅道、アズコネット社会保険労務士事務所、NGO 自敬寺、立命館大学大学院教職研究科

＜高校生のための国際協力助成プログラム 審査員＞ 【審査委員長】林田雅至（大阪大学・教授）、

【審査員】熱田典子（（公社）アジア協会アジア友の会）、山上正道（（特活）AMDA 社会開発機構）、佐藤正隆（リタワークス（株））

＜高校生のためのポスターセッション 審査員＞ 【審査委員長】岩崎裕保（（特活）開発教育協会）

【審査員】石崎雄一郎（ウータン・森と生活を考える会）、和泉羽美（（特活）テラ・ルネッサンス（インターン））

【事前審査】片田孫朝日（灘高校・教員）





運営体制・委員会構成

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth～高校生のための国際交流・国際協力 EXPO 2018～は、運営委員会（*1）、（特活）関西 NGO 協議会（事務局）が主催する事業です。運営委員会をはじめとする主催団体が資金の調達・管理や危機管理をはじめとする運営を担っています。企画の立案は高校生実行委員会（*2）が担当。参加者に近い視点から企画運営を担っています。さらに、ボランティアリーダーチーム（*3）が当日ボランティアの統括を担当し、企画・運営側と当日ボランティアをつなぐ役割を果たしました。

*1：運営委員会は、高校教員・大学教員・NGO 職員・関西 NGO 協議会職員で構成。

*2：高校生実行委員会は関西地域の公立・私立高校 6 校より計 11 名の高校生で構成。

*3：関西地域の公立・私立高校に通う 20 名の高校生と彼らの活動をサポートする大学生で構成。

高校生実行委員会

【実行委員長】梅原恋子

【副実行委員長】倉岡史果、北出裕津季

【参加高校】大阪府立松原高校、大阪府立花園高校、三田学園高校、京都女子高校、立命館宇治高校、立命館守山高校

ボランティアリーダーチーム

【リーダー】中岡陽希 【サブリーダー】岡本慧、四方康介、李嘉美

関西(滋賀・京都・大阪・兵庫)関心のある高校生約 20 名が参加



運営委員会

【日程】①7/27 ②9/12 ③10/11 ④11/9 ⑤12/14 ⑥1/25

【運営委員長】林田雅至（大阪大学 CO デザインセンター）

【副運営委員長】杉浦真理（立命館宇治高校）、栗田佳典（（特活）テラ・ルネッサンス）

【監事】坂西卓郎（（公財）PHD 協会）、田中めぐみ（京都女子高校、東アジア青少年歴史体験キャンプ）

【運営委員所属】大阪府立狭山高等学校、大阪府立堺東高等学校、大阪府立佐野高等学校、大阪府立渋谷高等学校、大阪府立北摂つばさ高等学校、大阪府立松原高等学校、兵庫県立兵庫高等学校、神戸龍谷中学校高等学校、灘中学校・高等学校、京都女子中学校・高等学校、立命館宇治中学校・高等学校、立命館守山中学校・高等学校、YMCA 学院高等学校、東アジア青少年歴史体験キャンプ、大阪大学 CO デザインセンター、（公社）アジア協会アジア友の会（公財）大阪 YMCA、（特活）開発教育協会、（特活）テラ・ルネッサンス、（公財）PHD 協会、（特活）Le Ciel、（特活）関西 NGO 協議会

★高校生実行委員長からのコメント★

国際交流・協力の分野で「自分に何が出来るのか」と挑んだ活動の中、多くの新しい知識や視点の発見が私の世界を広げ、具体的な目標を定めることが出来ました。また、今世界で起こっている事と自分の繋がりを実感することで、未来は今を生きる私たちの手にあると強く思います。私たちが考え行動したように、世界中の誰もが誰からも制限されることなく個人の自由が尊重されるような未来を考えたいです。

2018 年度高校生実行委員長 梅原恋子

★運営委員(高校教員)からのコメント★

生徒の「何か活動したい！」という気持ちに、教師がすぐに反応できない忙しさや学校体制の中で、日々成長していく生徒の姿に教師も励まされた半年間でした。実行委員が自ら手掛けるプロジェクトを成功させるために、事務局や運営委員会の皆さんのサポートを受けて、外部団体とのやりとりも生徒が行ない、学校の中だけでは体験できない社会的な力を生徒が身に付けることができました。感謝です。

京都女子高校 教諭 田中めぐみ

開け入口!! 拓け未来!!

入場無料

ONE WORLD FESTIVAL
for Youth

高校生のための
国際交流・国際協力
EXPO 2018

他の高校生の活動を知りたい!
ポスターセッション、活動報告会、
高校生助成プログラムなど

高校生がつながる!
体験型プログラム!

楽しみながら世界を感じよう!
世界を感じるパフォーマンス、
カフェ・ワンワールドなど

国際協力の取組を聞きたい!
高校・NGO・企業などのブース出展、
高校生のためのワークショップなど

12/24 月・振替休日 @大阪YMCA
10:00~16:00
大阪市西区土佐堀1-5-6
Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋」3号出口より徒歩5分
Osaka Metro 御堂筋線・京阪線「淀屋橋」4号出口より徒歩10分

事務局・問い合わせ先
ワン・ワールド・フェスティバル for Youth
高校生のための国際交流・国際協力EXPO事務局

〒530-0013 大阪市北区茶屋町 2-30 4階 (関西NGO協議会)
TEL: 06-6377-5144 FAX: 06-6377-5148
メール: youth_expo@kansai.go.net
ホームページ: http://owf-youth.com

@owfyouth owfyouth

ワンフェスユース 検索

フロアマップ

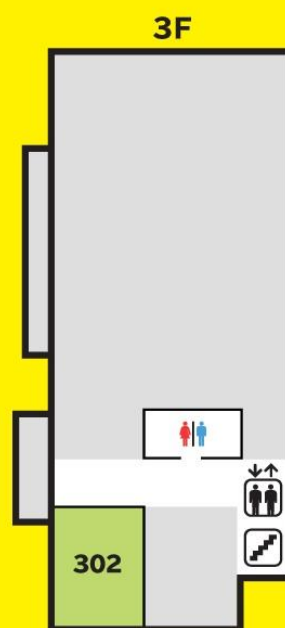
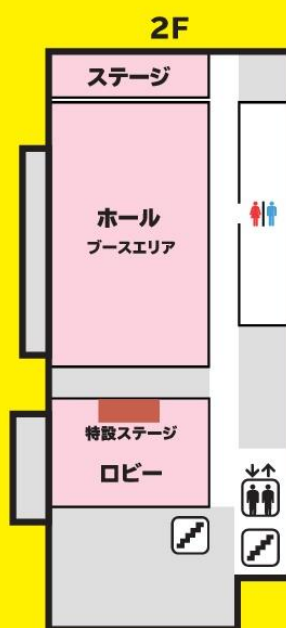
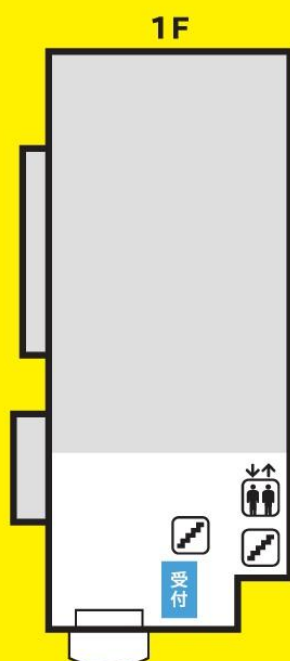
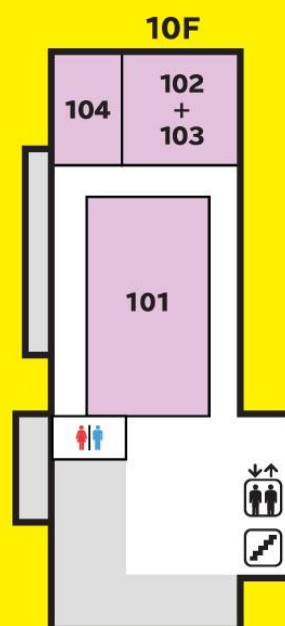
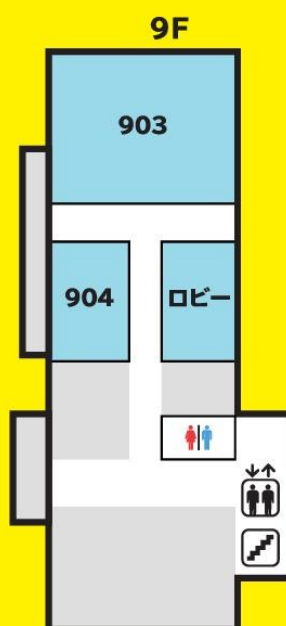
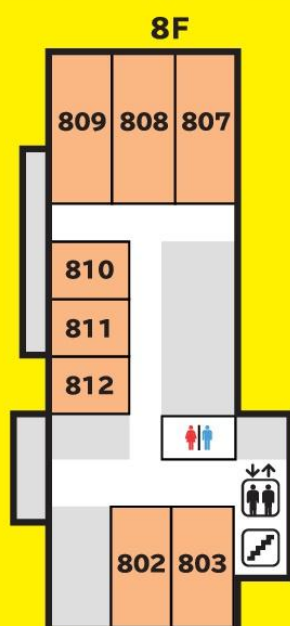


高校生が中心になって考えた企画や
高校生向けのプログラムがたくさん！

困ったときはボランティアリーダーや
高校生実行委員にお声かけください！



高校生実行委員は ピンクのパーカー、
ボランティアリーダーは 白パーカー
を着ています！



※本部は4階にございます

作成日:2019.3.14

特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会／Kansai NGO Council

〒530-0013 大阪市北区茶屋町 2-30

TEL 06-6377-5144 FAX 06-6377-5148

E-mail: knc@kansaingo.net URL: <http://www.kansaingo.net>